

Neji 8

Shiho Morita

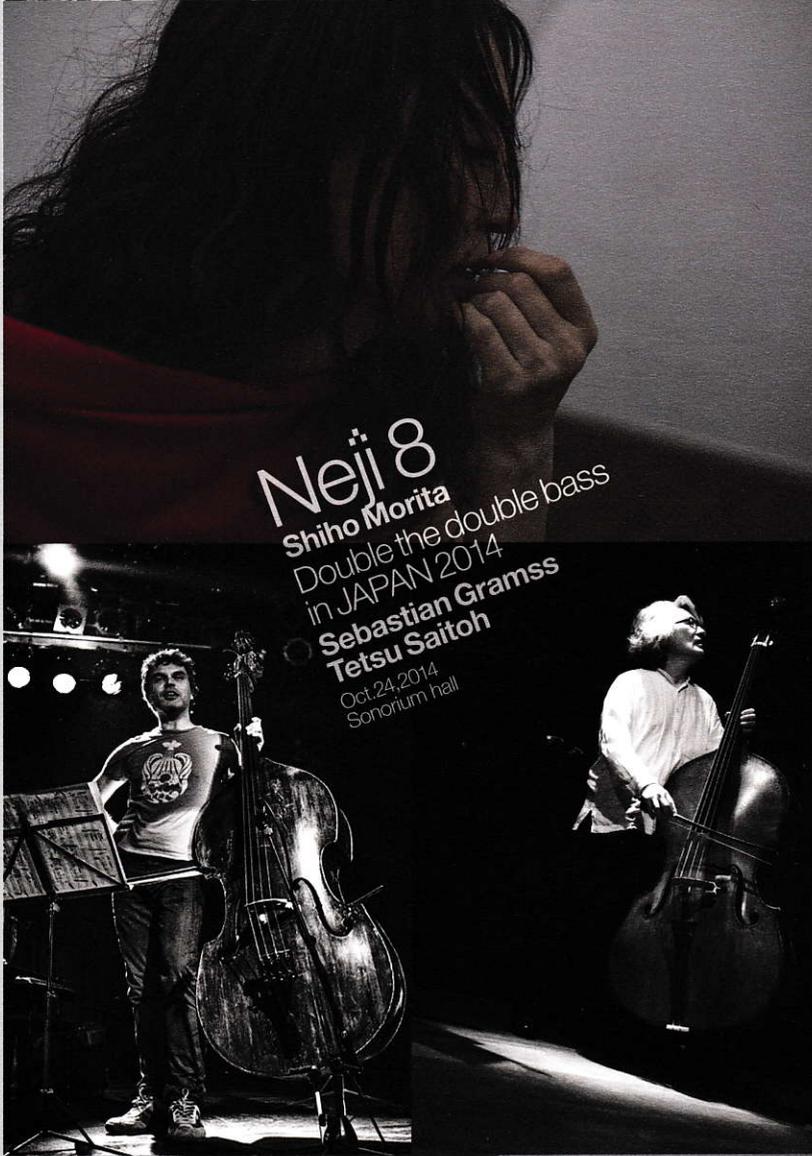
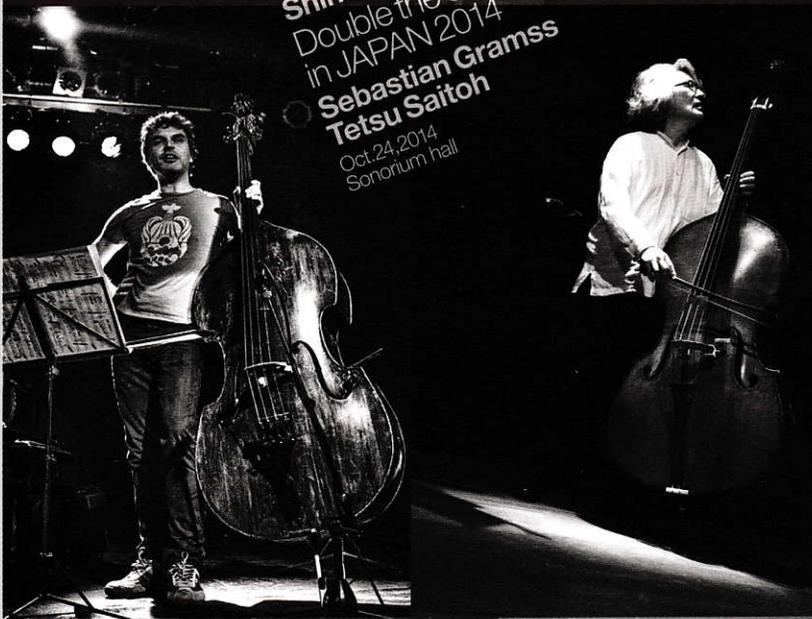
Double the double bass
in JAPAN 2014

Sebastian Gramss
Tetsu Saitoh

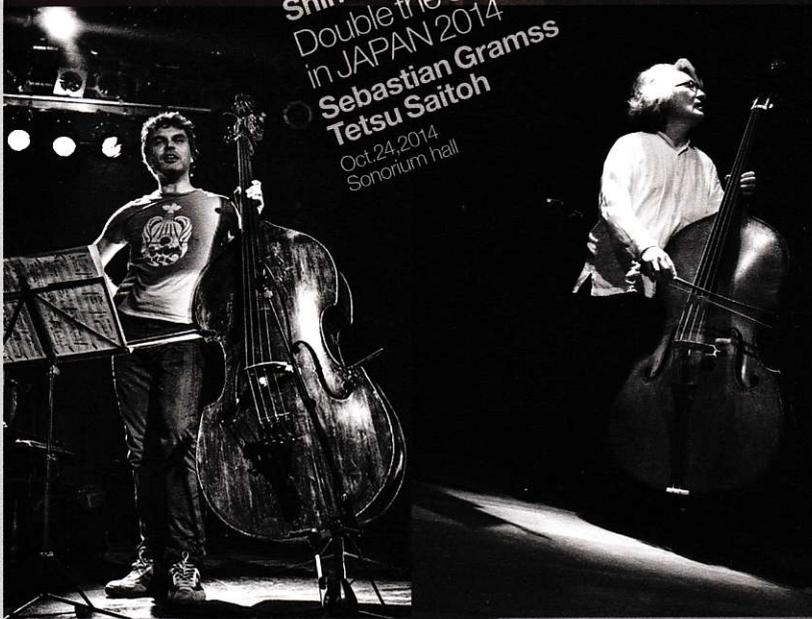
Oct.24,2014
Sonorium hall



Neji 8
Shiho Morita
Double the double bass
in JAPAN 2014
Sebastian Gramss
Tetsu Saitoh
Oct. 24, 2014
Sonorium hall



Neji 8
Shiho Morita
Double the double bass
in JAPAN 2014
Sebastian Gramss
Tetsu Saitoh
Oct. 24, 2014
Sonorium hall



ねじ 8

Double the double bass in JAPAN 2014

世評の高いフラメンコ舞踊にとどまることなく

「いま・ここ・わたし」を踊り続ける森田志保。

辺境から中心へ、中心から辺境へ、辺境から辺境へと越境を続ける
コントラバス奏者セバスチャン・グラムと齋藤徹。

西と東という横軸に、過去・現在・未来の時間軸を加え、
伝統と現代、民族と個人を白い箱「Sonorium」に映し出す。

踊りは何かを探す仕草、
音楽は何かを呼ぶ行為。

呼ぶ声に探す身体が出会う瞬間の共有を。

森田 志保 フラメンコ舞踊

<http://shiho-morita.jp/>

日本フラメンコ協会の第三回新人公演にて奨励賞受賞。1994年スタジオトルニージョを設立し、活動の拠点とする。スペインの文化であるフラメンコを日本人の踊り手として昇華し、独自の世界観を表現すべく新たな作品を発表し続けている。フラメンコの枠に留まらず、実験的な試みを加えた「はな」「ねじ」シリーズは7回を数える。「はな5」は平成21年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。2014年 短編映画「Gravitación」(高木由利子監督)企画・主演。同年、巨匠Antonio Canales、Carmen Ledesmaとの共演作品「Plata y Oro」では演出も手がける。

セバスチャン・グラム コントラバス

<http://www.sebastiangramss.de/>

1966年生まれ。2013年の独エコー賞を受賞。独ナンバーワンのベーシスト・作曲家。88年以来、インプロビゼーション・ジャズ・現代音楽の世界で活躍。50名のコントラバスアンサンブル「BASS MASSE」を仕切り、彼の作曲によるスコダニビオ追悼盤録音では世界の名だたる11名のベーシストが参加。グループUnderkarlはフランク・ザッパ以来のグループと称され、ピナ・パウシュ舞踊団に音楽を提供。ケルン音楽大学・オスナブリュック音楽大学教授。齋藤徹とは5年前より数多く共演。ドイツ大使館、ゲーテインスティテュートが推薦していることで明らかのように、今後長期間、世界の音楽シーン、コントラバスシーンを牽引する逸材。今回初来日。

齋藤 徹 コントラバス

<http://travessiaart.com/>

舞踊・演劇・美術・映像・詩・書・邦楽・雅楽・能楽・西洋クラシック音楽・現代音楽・タンゴ・ジャズ・ヨーロッパ即興・韓国の文化・アジアのシャーマニズムなど様々なジャンルと積極的に交流。ヨーロッパ、アジア、南北アメリカで演奏・CD制作。コントラバスの国際フェスティバルにも数多く参加。コントラバス音楽のための作曲・演奏・ワークショップを行う。自主レーベルTravessia主宰。

2014年10月24日(金) 開場 19:30 開演 20:00

Sonorium hall

東京都杉並区和泉3-53-16
<http://www.sonorium.jp/>

- 京王井の頭線
永福町駅下車(北口)徒歩7分
- 東京メトロ丸の内線
方南町駅下車 徒歩10分

¥3,500 全席自由



8月22日(金)
予約受付
開始

【申込専用メールアドレス】 neji.tornillo@gmail.com

【FAX】 0422-20-5898 (トルニージョ)

必要事項(お名前、人数、電話番号)を記入の上、
上記専用メールアドレスまたはFAXにてお申し込みください。

主催 / TRAVESSIA トルニージョ

制作 / トルニージョ

助成 / ドイツ連邦共和国外務省

協力 / ドイツ文化センター

